

民生児童委員との市民懇談会でのご意見・ご要望への対応の掲載について

平素は、議会運営にご理解を賜りありがとうございます。

さて、過日、開催いたしました民生児童委員との懇談会（テーマ：支え合う地域づくり、安心して暮らせる地域づくり）では、多くの委員にご参加頂き、また様々なお意見等を頂き、誠にありがとうございました。

当日、頂きましたご意見等は、市政や当議会に対する貴重な提言として真摯に受け止め、当市の一層の発展に資するよう努めてまいります。

なお、民生児童委員の活動環境の整備に係るご意見につきましては、現在の市の取組を確認した上で、さらに取組を進めるべき事項について別添の文書を作成し、議長から市長に対し申し入れいたしました。

また、市政全般について頂きましたご意見等につきましては、2月10日開催の市民懇談会でのご意見とともに整理、とりまとめを行い、改めて公表させていただきますので、ご了承頂きますようお願いいたします。

平成30年2月2日

生駒市議会

民生児童委員の活動に対する環境整備に係る申し入れについて

生駒市議会では、平成 29 年 11 月 3 日に民生児童委員を対象とした市民懇談会を開催し、日頃の活動を通じて感じられている問題点や改善点など、様々な意見、要望を伺った。その後、担当課に現在の取組状況等を聞き取った結果、民生児童委員の要望に対する改善に取り組んでいることを確認した。しかし、いまだ残されている課題があることから、今後、民生児童委員の活動をより円滑に行うために必要と考えられる事項をとりまとめたので申し入れる。

1. 民生児童委員の定員増について

現在、受け持ち世帯数を基準に定数が定められているが、地形、道路条件、人口密度、一人暮らし世帯の数など、地域条件によって負荷が大きくなる地域がある。このことから、単位協議会からのニーズを踏まえ、定数を定める奈良県に対して、地域条件に応じた定数増の必要性を十分に説明し、その確保に努められたい。

2. 地区割の見直しについて

単位協議会における情報共有、特に困難事例等に対する対応などの報告と情報共有を行うには、委員数の多い単位協議会では難しくなっている。また、他の施策との整合を図る上で、各組織の区割り（境界）が異なることから円滑な連携がとりにくいといった状況もあることから、適切な規模、他分野の組織区分と整合などの視点から区割りを見直すことを検討されたい。

3. 災害時の対応について

災害時の対応については、経験を有する委員も少なく、ノウハウが不足しており、現状において十分な対応ができていない。行政においては昨年秋の台風 21 号上陸時の反省を踏まえ、今後の対応方針を検討する予定があることから、検討に当たり、民生児童委員のニーズを把握するとともに、民生児童委員が行うべきことを明確化し、周知されたい。

4. 災害時の情報共有について

災害時における要支援者に関する情報について、自治会長、支援員、民生児童委員との間での個人情報の取扱、情報共有の在り方について、共通の理解ができるよう、関係課が連携・協力してルールを明確化し、周知されたい。

5. 事後の報告について

民生児童委員は、問題解決に向けて関係機関につなぐことを主たる役割とすることから、つないだ後の報告は様々な制約、気遣いからされないのが常である。しかしながら、心情的に納得できない委員も多いことから、双方（委員と関係機関）が納得できる範囲で結果報告されるよう取り計らわれない。

6. 行政との情報共有について

児童虐待などに関して、行政からは民生児童委員に依頼される部分の情報だけが逐次、断片的に提供されることから、地域から入ってくる情報との間に量的、時間的な格差が生じる場合がある。このことが、委員が対応に悩む要因となる場合があることから、情報格差を極力少なくするよう一定程度の情報共有に努められたい。

7. 地域内での情報収集について

民生児童委員が支援すべき人達の情報は、行政からだけではなく地域内住民から入手することとなる。しかし、地域性や委員のパーソナリティによって情報収集が容易な場合、困難な場合がある。そこで、各地域において、行政が分野横断的に支援し、民生児童委員、地域住民相互の接点を増やし、見守りのネットワークを多重化するための交流機会を拡充されたい。

8. 相談窓口について

経験を積んだ民生児童委員にあっても対応、判断に困るケースはあり、特に一人暮らし高齢者の救急搬送時に多い。平日であれば行政（担当課）が相談可能であるが、休日・夜間にはできない。このことから、休日・夜間に相談可能な体制整備を検討されたい。

9. 協力員について

現在、民生児童委員連合会において負担軽減の手立てとして協力員の配置が検討されているところである。また、行政においても協力員配置について制度化、予算化を予定されている。今後、民生児童委員から協力員の配置を求める声が上がった場合に速やかに対応できるよう、制度化、予算化を確実に実施されたい。

10. 後継者の確保について

民生児童委員にとって後継者を探し出すことが大きな問題となっている。特に、4月に着任した新任かつ地域とのつながりの薄い自治会長が、候補者を探し出すことが難しく、行政にあっては人材発掘に対する支援を検討されたい。